

## 大切な目を守るために、 検査や矯正訓練を行う



### OG VOICE

眼の研究もしながら  
積極的に医療に  
貢献していきたいです

高校生の時に参加したオープンキャンパスでさまざまな眼科検査を体験し、小さな1器官である眼に幅広い分野があることに感銘を受け視能訓練士をめざしました。眼科には子どもから高齢者までいろいろな年代の方が受診されますが、学生時代に保育園や療育施設、介護福祉施設など多くの施設で実習し、学んだ適切な声掛けや対応などを業務に生かしています。現在、斜視の研究をしており積極的に医療に貢献していきたいです。



深谷 京さん  
国際医療福祉大学  
熱海病院 勤務  
保健医療学部  
視能療法学科 卒業

### どんな仕事？

#### 目の検査のほか、病気の早期発見も

①医師の診断のためのさまざまな検査(視力、視野、屈折、眼圧など)②斜視・弱視などに対する視機能回復を目的とした矯正訓練③視覚に障害を持つ人の現在の視機能を最大限に活用して、生活の質のレベルを維持するロービジョンケアなどを担います。また、④乳幼児健診、学校健診、職場健診などで病気の早期発見・予防にも貢献しています。

### どこで働く？

#### 病院だけでなく、企業や公的機関など

病院・リハビリテーションセンター

保健所・保健センター

医療機器・医薬業関連企業

など

### 仕事の展開と将来の展望

#### 注目されるロービジョンケアの担い手

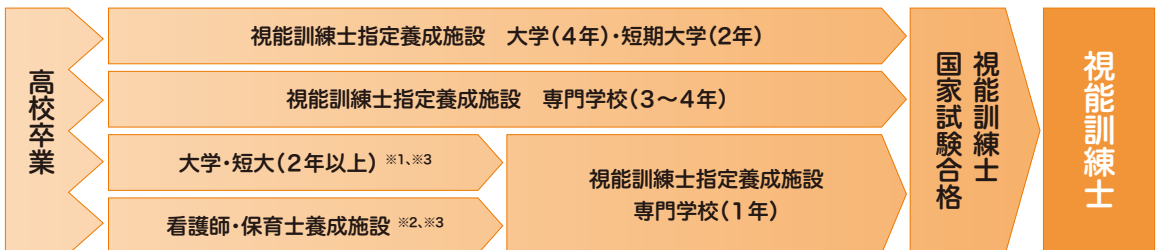
高齢化や生活習慣の変化により、緑内障・糖尿病網膜症・加齢黄斑変性などに伴う視機能障害が増加し、ロービジョンケアが注目されています。現在は視能訓練士の大半が病院などに勤務していますが、今後は保健所や老人福祉センターでの活躍も期待されます。現在、眼科医15,000人に対し、視能訓練士は20,000人ほど。眼科医1人に対し視能訓練士は2~3人が必要と言われ、さらなる養成が望まれています。

### どうすればなれる？

#### 視能訓練士国家試験に合格することが必要です。

受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の大学で4年間、必要な知識・技能を学び卒業する。厚生労働大臣指定の専門学校で3年以上、必要な知識・技能を学び卒業する。などの方法があります。



※1 学校教育法に基づく大学(短期大学含む)を卒業もしくは2年以上修業した者

※2 文部科学大臣または厚生労働大臣指定の保育士または看護師を養成する学校および施設で2年以上修業した者

※3 厚生労働大臣指定の科目を履修した者